

# 身近なものが展示品に？！

今博物館にあるものの多くはかつての人たちが使っていたものばかり！

当時の身近な美術品も今では博物館に！

「好きなものを好きなように解説して、好きなように展示してみる。」

そんな体験ができるのはこのワークショップだけ！！

君が選んだものが、未来の展示品となっているかも。

## ○ワークショップ内容

### ・キャフションを作ってみる

君が見つけた身近なものを展示品にするためには、キャフションが必要なんだ！

君の思いをこの1枚にぶつけてみよう！書き方はみんなそれぞれ！

パソコンでダウンロードしてもいいし、印刷してもOK！データはホームページからだよ  
分からなくなったら、下の写真を見てね♪

### ①展示品を探そう！

普段使っているものや自分が作ったもの、これがいい！と思うものを探してみよう！

例えば、ペンやメガネ、ゲーム機、プラモールでも、なんでも可能性は無限大！！

### ②名前を付けよう！

名前はそのものが分かる名前ならなんでもいいよ！

例えば、ぬいぐるみなら、そのぬいぐるみの動物の名前でも、君が呼んでる名前でも、OK！

その名前をキャフションにかこう！

### ③時代と見どころをかこう！

時代のところは作られた時期でも、君と出会った時期でもお任せするよ！

見どころが君がこの展示品の描きたいところをいっぱい書いてみよう！

素材や形、ここがすごいとか、思い出とか、たくさんあるはず！

展示品の魅力を他のみんなにいっぱい伝えるんだ！

(例)

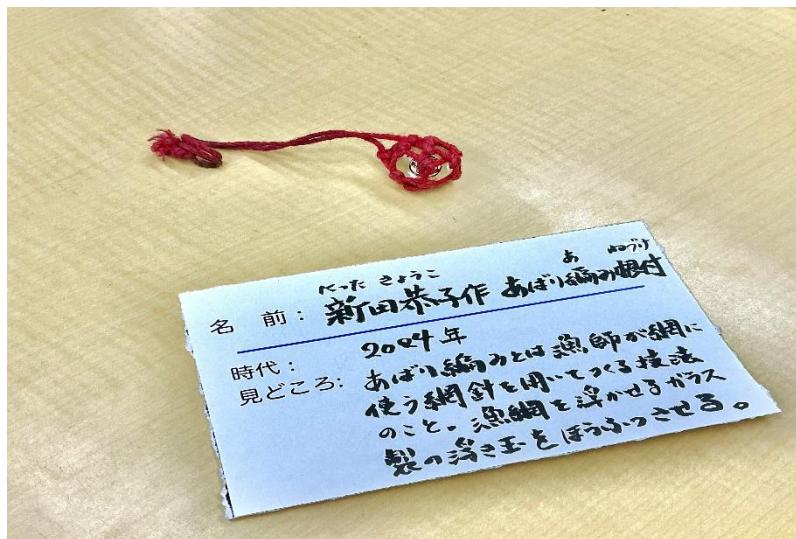
名前: 新田恭子作 あばり編み懐付  
時代: 2024年  
見どころ: あばり編みとは、魚師が船に  
使う網針を用いてつくる技法  
のこと。魚網を浮かせるガラス  
製の浮き玉をほうきつさせること。

名前: 日本製 プラスチックパン "ZEBRA"  
時代: 令和7年  
見どころ: この食料の見どころは、イントリーや  
カラフルなクリアホワイトのオーバーです。  
ブルーの目を引くオーバー、その下には高反発の  
ゴムがありながら、当時の人々に比べ、パンは  
使つかれ度が高かったと歴史がれます。  
上部の溝とゴムの直線的な模様も見えられます。

#### ④写真を撮って展示品にしよう！

君が見つけたものと、完成したキャバションを合体させて君だけの展示品を  
完成させよう！展示品とキャバションがしっかり写るように撮ろうね♪  
完成したものはこんな感じ。参考にしてみてね！

(例)



たくさんの展示品待ってます！！  
あなたの選んだものが未来にはすっこいものになってるかも？！